

教科	科目	必修・選択	履修条件	単位数	開講学習期間
地理歴史	日本史探究	選択	なし	4単位	1・2・3
開講曜日	開講時間数	必要時間数	必要一斉時間数	テスト回数	レポート枚数
日曜	12時間	6時間	4時間	3回	12枚

科目紹介と履修上のアドバイス			
<p>「歴史総合」では、世界史の大きな流れの中で翻弄される日本の近現代史を中心に学びました。この「日本史探究」では、日本にフォーカスして古代からより詳しく、そして深く歴史を学ぶこととなります。「過去に目を閉ざす者は、結局のところ現在にも盲目となります」とは、西ドイツのヴァイツゼッカー大統領が、行った世界的に有名な演説です。そして、私たちが永遠に考え続けなければならない「問い」です。</p> <p>日本はこれからどう向かうべきなのか、日本史探究を通して一緒に考えましょう。</p>			
教科書	精選日本史探究 今につながる未来をえがく (実教出版)	学習書	早わかり日本史(日本実業出版)
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	我が国の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察している。歴史に見られる課題について、考察したことを効果的に説明し、それらを基に議論している。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。

面接指導計画

回	学習内容	教科書ページ	レポート	回	学習内容	教科書ページ	レポート
第1回	原始・古代の日本と東アジア 黎明期の日本列島と歴史的環境	10-23	1	第8回	近世の国家・社会の展開と画期	122-131	8
第2回	歴史資料と原始・古代の展望	26-35	2	テスト	レポートNo.5~No.8		
第3回	古代の国家・社会の展開と画期	38-43	3	第9回	近現代の地域・日本と世界 近代の転換と歴史的環境	144-157	9
第4回	中世の日本と世界 中世への転換と歴史的環境	52-69	4	第10回	歴史資料と近代の展望	158-171	10
テスト	レポートNo.1~No.4			第11回	近現代の地域・日本と世界の画期と構造	172-191	11
第5回	歴史資料と中世の展望 中世の国家・社会の展開と画期	73-91	5	第12回	現代の日本の課題の探求	200-223	12
第6回	近世の日本と世界 近世への転換と歴史的環境	98-111	6	テスト	レポートNo.9~No.12		
第7回	歴史資料と近世の展望	106-119	7				

